

週報 Weekly Report 2025-2026



よいことのために
手を取りあおう

事務所 三重県伊賀市西明寺 2756-104 ヒルホテルサンピア伊賀内
TEL 0595-24-4650 FAX 0595-24-4656
例会 毎週木曜日 12:30 第3週例会 18:00 点鐘
ヒルホテルサンピア伊賀 TEL 0595-24-7000

URL : <http://www.ict.ne.jp/~u-eastrc/>
e-mail : u-eastrc@ict.ne.jp

【本日の例会 第2101回 2026年3月5(木)】

開会点鐘) 12:30
国歌斉唱) 君が代
RCソング) 奉仕の理想
ゲスト・ビジター紹介)
会長の時間
幹事報告・委員会報告・同好会報告・出席報告
ニコニコボックス報告
閉会点鐘) 13:30
本日の行事) 卓話: 伊賀保健所衛生指導課
前川 幸子様

【前回の例会 第2100回 2026年2月26日(木)】

開会点鐘) 12:30
RCソング) 日も風も星も
歌唱指導) いい日旅立ち
ゲスト・ビジター紹介)
会長の時間
幹事報告・委員会報告・同好会報告・出席報告
ニコニコボックス報告
閉会点鐘) 13:30
本日の行事) 卓話: 2023-2024年度米山記念奨学生
張 茜茜 様

【会長の時間 / 木津八右衛門 君】

本日の卓話は2023-2024年度米山奨学生に張茜茜さんです。45周年記念講演のPR録画でCA-TVでお会いし卓話をお願いし本日お招きいたしました。日本語も上手になり卓話を楽しみにしております。まもなく3月、卒業式の時期私も地域で様々な団体の役職を仰せつかっていますので総会準備、会計監査等毎日バタバタしています。皆さまの会社も歓送迎の時期となりますが元気に年度末をお過ごし下さい。



【本日のソング / 山口百恵 さん】

いい日旅立ち ♪

ああ～ 日本のどこかに～



【幹事報告 / 宮岡秀樹 君】

今後の例会の出欠確認をとっております。3/12(木)移動例会「美晴荘観梅例会」3/19(木)「上野・上野東合同夜間例会」4/26(木)「45周年創立記念例会家族旅行」出席委員長又は事務局までご連絡下さい。



【出席報告 / 中西理晃 君】

本日の出席率 93.33%



【ニコニコボックス報告 / 樋口優子 さん】

張茜茜さん：ニコニコBOXに協力します。
木津会長：張サン！ お久しぶりです。
宮岡幹事：張サン！ お元気そうで何よりです。
中井君：張サンをお迎えて。上野RCで卓話してきました。
宮田君、「中里君、神戸君、出後君、鈴木君、長谷川君、小林君、栗本君、中村君、山森君、乾君、樋口君、平井君、中西君、福永君：張サン、ようこそいらっしゃいました。卓話楽しみにしています。

乾君：ちょっといい事が……
三谷君：ホーム例会欠席のお詫び



【ロータリーの友読みどころ / 樋口優子 さん】

“モヤッとしていた奉仕というのが……”
千玄室さん～100歳を迎えて 茶堂裏千家第15代家元 RC歴69年の千玄室さんであっても奉仕ほど難しいものはないと言わしめる。奉仕を理解する糸口として仏教の無財の七施という教えがあります。財の無い人でも他者に貢献、奉仕できるというものです。昨年8月14日にご逝去された千玄室さんのご遺志を継ぎ残された私たちロータリアンは奉仕への理解を深め実践し他者を思いやる心を育みたいものです。



【本日の行事 / 卓話 2023-2024 米山奨学生 張茜茜(チョウセンセン) 様】



満面の笑顔で大ファンであるJリーグ柏レイソルのユニフォームを掲げる張茜茜さん(写真 右) 史上最高の米山奨学生カウンセラーとして得意顔で張サンを紹介する小林君 (写真 左)

『伊賀での2年間(近況報告)』

皆さま、こんにちわ。あらためまして伊賀上野CA-TV(株)制作部の張茜茜です。入社3年目、ほぼ現場で仕事をしてきましたが振り返るとアツという間の2年間でした。自己紹介を手短に…… 生まれは中国南部広東省深圳(シンセン)市、平均気温25℃の温暖地域です。直近は“春節”(旧正月)、中国語でお祝いの言葉を皆さんに…… 「祝大家身体健康、財源広進」(皆さまの健康を祈念し商売繁盛を願います) 2017年母国の大



学を卒業し2年間働き2019年来日し日本語を学び鈴鹿と津で大学生活を送り2023年米山記念奨学生となり上野東RCの皆さまと出会う機会をいただき伊賀とのつながりが生まれました。まずは私のちょっとした趣味のお話から……。ここ数年サッカー観戦にはまっておりJリーグ柏レイソルの大ファンです。初めて来日したとき最初の住まいが千葉県柏市でチームカラーの黄色が全体を覆っていて「何だ！この黄色い街は？」と衝撃を受けました。もともとアニメ好きなので“ブルーロック”や“アオアシ”などサッカーをテーマにしたアニメを観ていましたが、4年後ふと柏のことを思い出し現地のスタジアムに観戦に行き、完全にやられたと思いました……。サッカーは“観るもの”と思っていましたが熱狂的な応援を目の当たりにし、気が付けば私はゴール裏に立ち、今では毎回ユニフォームを着て“観るもの”から“参加するもの”として応援し続けています。去年はJリーグ2位、誇らしい1年でしたが今シーズンは現在最下位、人生と同じで思い通りにはいきません……。そう実感しました。つい応援同様、つい熱く語ってしまいました。

伊賀に来てからのもう一つの趣味は“美食めぐり”です。上野東RCの皆さまと伊賀牛の焼肉をご一緒させていただいてから本当に美味しく感動し伊賀牛にはまってしまいました。さらにCA-TVの番組「ななちゃんのお店紹介」に影響されて色々なお店をめぐるようになりました。最初は住まいの周辺からでしたが、大山田、阿山、島ヶ原など少しづつ足を延ばしました。そこには地域に根ざしてじっくり丁寧に料理を作りお客さんとの触れ合いを大切にしている方々がいました。大好きな焼肉はもちろんですが地元のスイーツや老舗、豆腐田楽など伊賀ならではの味に出会いました。

趣味のお話が長くなり失礼しました。ここからは仕事のお話です。CA-TVの制作部でフレックスタイム制で勤務しています。日程調整、現地撮影、原稿作成、編集と多くの工程を経て2分程のニュースが完成します。仕事のリズムは中国とは大きく異なり、最初にぶつかった壁は、“お昼休み”でした。中国では、どの職場でも昼食後に40分はしっかり昼寝ができますが日本にお昼休みは1時間。食事をすればほぼ終わりです。午後は眠くて仕方ありません。この問題の解決法としてお弁当からご飯(炭水化物)を抜き眠さを軽減させました。正直物足りませんでしたが午後は少し楽になりました。半年続けたある日、久しぶりにご飯を食べましたが眠くならずこの問題を乗り越えた瞬間でした。今思えば小さなことですが、私にとっては小さな勝利でした。しかし最大の壁はここからです。それは、“言葉”でした。日本語学校では“教科書の日本語”でした。おおきに、せやねん、せんといて、き一つけてや。全く理解出来ず、1年目の頃は本当に辞めたいと思ったこともあります。同期はどんどん成長し、私はいつも後ろを走っているような……。悔しく、そして羨ましかった。私に出来ることは何だろう？ 最初は“逃げないこと”だと思い、その一つが電話でした。緊張しましたが深呼吸をして受話器を取り何度もこう言いました。「すみません、もう一度お願いできますか。」と。最初は勇気がいりりましたが、伊賀の皆さんはその都度何度でも丁寧に話していただき私を助けてくれました。勇気をもらい、皆さんの優しさに気づきました。そして日々課題を克服しながら続けて行くうちに取材先で中国の方と出会う機会があり勇気づけられました。今ではそんな中国の方々を取材する立場に私は立っているのです。



【ロータリアンの近況／幹事 宮岡秀樹 君】

クラブでは幹事、本業では支配人、多忙な日を過ごしつつ、フウーツと溜息をついた。そのわけを尋ねてみた。「気い使うことが多いですなあ〜」とまた溜息をついた。支配人でも幹事でも間(あいだ)に入って差配する気苦労は察して余りある。お客サンの気持ちを考えすぎて、これでいいんだろうか？と常に不安にかられるという。例会でプロジェクターを使用した際、誰が灯りを点けたり消したりするの？カーテンは誰が開け閉めするの？夜間例会での料理配膳のタイミングは？と心配は尽きない。しかし、その気苦労の末、充分な準備をしてお客サンが満足して笑顔で帰っていただいたらこの上なく喜びを感じるという。こんな浮世の喧騒の息抜きはチョコのラブラドルレトリバーの愛犬アポロ君との散歩だと目尻を下げる入会4年目の宮岡君であった。



【編集者のひとり言】

母ちゃんのカレーはなぜ美味しかったのか？という問いに、「味じゃなく、しゃべりながら食べる家族団らんという豊かな時間が子供の心を育てる最大の隠し味である。」乾部門長の子ども食堂支援セミナー報告の一節だ。“子供としゃべりながら食べる”この言葉が胸にグサツと突き刺さった。気がつけばその日の夕方、スーパーでタマネギとジャガイモとニンジンを買って物カゴに入れていた。(あ、カレールー 忘れた！)



【ロータリアンの近況／会長 木津八右衛門 君】(最終回)

ヨーロッパでは前例があるが大国アメリカでは未だ叶わぬ女性総理が日本で実現したことは真の近代国家への道を歩み始めたとい入会26年目の木津君は顔をほころばす。政治への関心を持ちながらも公職を退いた現在は地域の様々な役職を積極的に引き受け地元にも少しもお役に立てればと考えている。そんな中、普段の生活では心の癒しを求めて花や植物と触れ合う時間が増えたという。広大な花壇や芝生を入念に手入れしふと気づくことがあるそう。雑草は腹立たしいが雑草魂は素晴らしい。矛盾してそうだが真理でもある。また冬に枯れた花でも春になれば生き生きと花を咲かせる自然の素晴らしさに感銘を受けると言う。会長のもう一つの隠れた横顔を垣間見た。



【編集者のひとり言】(最終回)

先日、年に一度の母校の野球部OB会と現役選手たちとの交流会に顔を出した。私も含め昭和のオジサンOBたちは最も気にかけていることを現役選手や指導者の方々に尋ねてみた。高校野球が9回制から7回制へのルール改正である。高野連は令和9年度、つまり来年から実施する方向で検討していると言う。意外なことに現役選手や指導者の人たちは7回制には賛成だと言う。理由を聞いてみた。まず近年の夏の異常な暑さだという。もう一つの理由は7回制の方が全国の平均的な戦力を持つチームが勝つチャンスが増えると言う。強豪高校は投手を5、6人ぐらいい持っている。投手を1人か2人しか持たない平均的なチームは9回制でしかも連戦となると不利になることは否めない。7回制なら何が起るか予想出来ず下剋上の可能性が大いにあり得ると言うのだ。オジサンOBたちは彼らの言う理屈も気持ちも理解できた。しかし、高校野球が全く別の競技になってしまうのではないかと不安にかられたのである。

